



きずな

ドリームリーグ I ブロック

リーグ戦 I ブロックは「南月寒」「伏古北 FC」「札幌シーガル」「札幌藤野 FC」「富丘」「フォーザ SC」「北郷サテライト」「FC. Kaminopporo」の 8 チームがしのぎを削り、切磋琢磨しながら長いリーグ戦を乗り切りました。

優勝は「フォーザ SC」準優勝は「伏古北 FC」とリーグ戦を通してコンスタントに力を発揮して、乗り切ったチームが上位となりました。



各チームとも、長いリーグ戦の中で、子どもたちは確実に成長し、チームとしても熟成を重ねていったように思います。

リーグ戦の運営については、各チームが連携協力し、会場の確保についても問題なく、とても円滑に進めることができました。



長いリーグ戦を振り帰って、いくつかのチームからいただいたリーグ戦の感想を抜き出してみると…。

- ・リーグ運営スムーズに行っていただけで非常にありがたかった。
- ・リーグ内のチームはそれぞれの特徴をうまく発揮して試合をしていたと思います。自チームは



思うように行かなかったところがありますが、次へ向けて、このリーグ戦の課題を克服していこうと考える。

・ディフェンスが思うように行かず、失点が多かったが、徐々に失点がいき、道新旗で一つ勝つことができたのは、リーグ戦を通しての成果であると考えます。

など、各チームともども、それぞれにリーグ戦での課題をおさえ、課題を克服する経験を重ねることで、長いシーズンを通して確実に成長したリーグ戦となったように思います。

フューチャーリーグPブロック

フューチャーリーグPブロックは、苗穂ブルー、小野幌、もみじ台西、新光、幌北北九条、拓北、厚別北、アンフィニネクスト、シーガルの9チーム参加でのリーグ戦となりました。

リーグ戦序盤は各チームとも思ったような展開ができずに個性があまり見えませんでした。リーグ戦が進むにつれてチームの考え方や各選手の持ち味がでてきました。

リーグ戦優勝争いはアンフィニネクスト中心にて展開されていきましたが、2位以下はどのチ



ームにもチャンスのあ

る展開となり、中盤以降はどのゲームも見ごたえのある激しい試合が多くなりました。

優勝はアンフィニネクストとなりました。

圧倒的な攻撃力と前線からの守備から攻撃への切り替えの早さなど、このブロックでは抜きでた力を発揮し、引き分けがひとつであとは全て勝利という見事な結果でした。



しかし、リーグの一巡目はアンフィニに対して対応できなかった各チームも、二巡目は試合終盤まで同点あるいはリードする試合が出るなど、攻守にわたるスピードアップと戦術への理解向上が確実に実感できるリーグとなりました。二位争いは終盤まで激しく、もつれる展開となり、もみじ台西、幌北北九条、拓北が勝ち点で並びましたが、得失点の差でもみじ台西が準優勝となりました。

その他、新光、厚別北、苗穂ブルー、シーガルの4チームも準優勝との勝ち点差がなく実力的にどのチームが準優勝でもおかしくない力を持っていたと思います。

小野幌は6年生が少なく4年生以下の参加がある中、最後まであきらめずに戦い、リーグ終盤では上位チームに食い下がるなど、すがすがしい戦いを見せてくれました。

リーグ戦日程については、途中変更等もあり、また雨の日もありましたが、各チームのご協力により大きな問題もなく終了することができました。

また、グラウンドコンディションの維持、あるいはマナーを守り最後まで一生懸命応援いただいた保護者の皆様に感謝を申し上げます。

今後も選手たちの成長を見守り、あたたかい応援をいただくようお願いいたします。

